

(特非) 河北潟湖沼研究所

流域がつながる仕組みを活用して、河北潟流域の水辺保全活動を推進する地域産業を拡大する

活動地域  石川県河北潟



農業体験活動実施時の様子

課題

河北潟の水質改善を目指し、保全活動参加者は増えているが、流域の観点からの取組みを進めるため、流域の組織的な仕組み作りや流域保全を進める産業作りが課題である。

目標

流域協議会を設立し、流域での水辺保全活動参加者の増加、農業や化学肥料の使用を減らした圃場の増加、環境保全と調和する産業の推進を目標とする。



今後の
展望

準備会から河北潟流域自然再生協議会の発足をめざす。水辺・湿地や保全活動について学ぶことができる講座、資格制度の立ち上げをめざす。子どもが気軽に保全活動を学び参加できるキッズプロジェクトを立ち上げる。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

- 流域で連携した環境保全活動を進めるため、専門家や流域の行政、団体等との話し合いを進め、課題を整理し、河北潟流域自然再生協議会の設立に向けた準備会を発足させた
- 河北潟流域の情報を紹介する「河北潟流域新聞」を河北潟流域の農地や食べ物、河北潟の利用方法を主なテーマにして、2号制作した
- 流域の市民が気軽に参加できる農業体験、農地の生物や河北潟の水質、流域のごみを調べるなど、多角的な体験や調査活動を実施し、延べ183人が参加した
- 流域連携・地域連携をテーマにしたシンポジウムを開催、62人が参加した



シンポジウム会場の様子

シンポジウム参加者 **62人**

農業体験参加者 **144人**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **65%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの影響で現地活動が少人数となることがあった。またスケジュール決定がぎりぎりとなった。

■ 工夫した点

少人数で対話はしやすくなったため、参加者の満足度を高められるよう、要望を聞きながら活動の細かい部分を変更していった。

〒929-0342

石川県河北郡津幡町字北中条ナ
9番9

電話：076-288-5803

E-mail：info@kahokugata.sakura.ne.jp

HP：http://kahokugata.sakura.ne.jp/

